

# よしかわ

News from Yoshikawa City Council

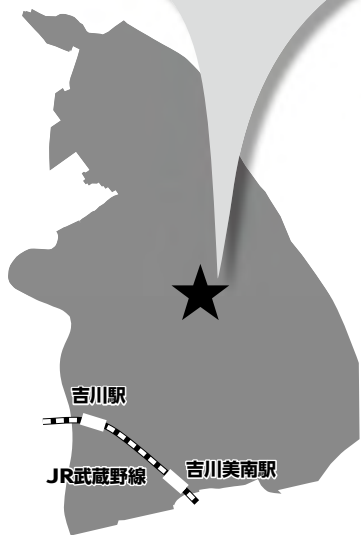
# 議会だより

No.191

# 2021.11

発行：吉川市議会  
編集：吉川市議会広報委員会  
〒342-8501 吉川市きよみ野一丁目1番地  
TEL.048 (982) 9421 (議会事務局 直通)  
FAX.048 (981) 5392  
<http://www.city.yoshikawa.saitama.jp>

アクアパーク



## 目次CONTENTS

定例会概要・決算	2
委員会審査概要	6
答えて市長！一般質問	8
議員提出議案（意見書）	12
審議結果	14

議会だよりが  
スマートフォンでも読めます

マチイロ

検索



# 9月定例会 概要

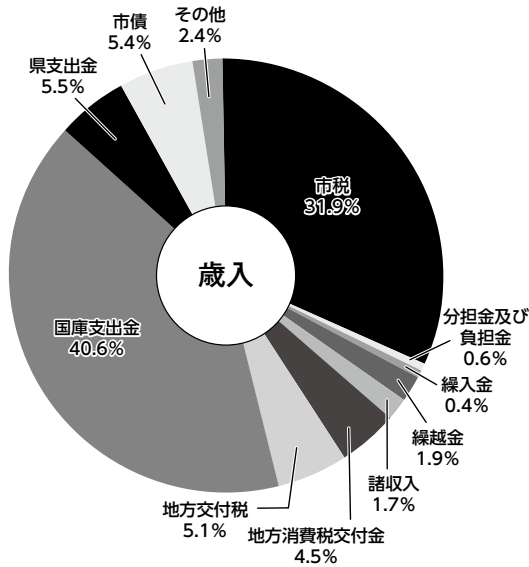
# 令和2年度決算を認定！



令和3年9月定例会は、9月2日から9月24日までの23日間の開催となりました。  
今定例会では、令和2年度一般会計決算の認定をはじめ、令和3年度吉川市一般会計補正予算（第6号）などの市長提出議案17件（2～5ページ）、議員提出議案として3件の意見書（12～13ページ）などを審議し、議決しました。（審議結果は14～15ページ）  
その他、「市政に対する一般質問」（8～12ページ）をお知らせします。

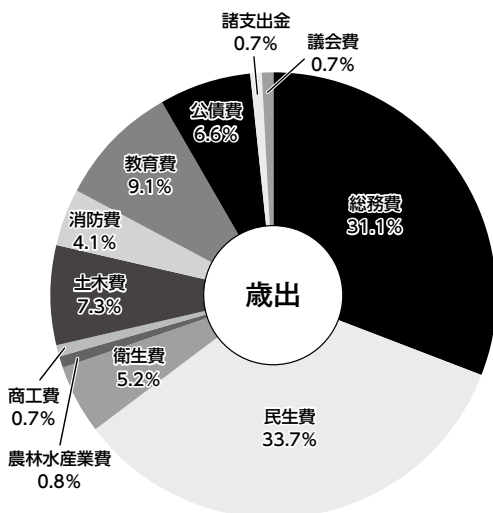
### ◆一般会計決算

令和2年度一般会計決算は、歳入が309億5245万5千円、歳出が300億4361万5千円となりました。前年度比は、歳入総額は、45億5600万5千円（17.3%）、歳出総額は、42億4627万1千円（16.5%）の増となりました。  
歳入は、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策等の実施により、「国庫支出金」が前年度に比べて77億2441万5千円（159.7%）の増となりました。一方で、吉川中学校建設、小中学校の空調整備及び第二保育所再整備の完了に伴い「市債」が31億4274万5千円減少しました。  
歳出の目的別では、特別定額給付金給付事業により「総務費」が72億2586万3千円増加しました。



### 歳入

	決算額 (千円)
市税	9,877,720
分担金及び負担金	179,153
繰入金	115,389
繰越金	599,106
諸収入	545,061
地方消費税交付金	1,383,444
地方交付税	1,565,501
国庫支出金	12,560,637
県支出金	1,700,136
市債	1,682,004
その他	744,303
<b>歳入合計</b>	<b>30,952,455</b>



### 歳出

	決算額 (千円)
総務費	9,349,420
民生費	10,122,904
衛生費	1,556,159
農林水産業費	236,575
商工費	219,948
土木費	2,184,124
消防費	1,229,620
教育費	2,744,126
公債費	1,972,697
諸支出金	226,844
議会費	201,198
<b>歳出合計</b>	<b>30,043,615</b>

令和2年度に実施された事業

◆市内の児童・生徒に一人一台のタブレット端末を整備

国のGIGAスクール構想(注1)に伴い、市内の小中学校の児童・生徒及び教職員のタブレット端末を整備しました。

一人一台の端末を活用することで、一人ひとりの教育的ニーズや状況に応じた学習ができるようになりました。課題は、全児童・生徒の持ち帰りによる家庭学習です。通信環境の無い家庭への無線環境の支援やフィルタリングによるアクセス制限機能の導入等、様々な状況を想定して体制を整えていきます。

(注1)「GIGAスクール構想」とは？

全国の児童・生徒に一人一台のコンピュータと高速ネットワークを整備する文部科学省の取り組み。一人ひとりの学習進捗状況を可視化するなど、個別最適化され、創造性を育むICTを活用した教育環境の実現を目指す。

◆減災対策関連事業  
・備蓄物資等の整備

アルファ米や保存水のほか、感染症対策としてペーパータオルやエタノール、避難所で使用するパーテーションや簡易ベット等を購入しました。

・洪水ハザード標識の設置

市では、洪水ハザードマップを作成し、全戸配布しています。さらに、日常生活を送るうえで水害に対する危機意識を高めることを目的として、河川が氾濫した際の浸水深の目安がまちなかでも認識できるように、市内の電柱120箇所に標識と赤いテープで浸水する想定の高さを表示しました。

◆新型コロナウイルス感染症対策関連事業  
・特別定額給付金の給付

家計支援のため、基準日(令和2年4月27日)において住民登録のある方を対象に、一人につき10万円を給付しました。申請書は令和2年5月に一斉に送付し、7月と8月には申請勧奨通知を送ることで、のべ3万713世帯への給付を迅速かつ的確に行うことができました。

・事業者への支援金給付

売上高の減少した事業者を対象に、事業活動の継続および雇用の維持を目的として支援金を給付しました。給付額は1事業者あたり10万円で、事業に係る賃料は最大5万円を支援しました。

・公共施設における感染症対策の整備

市役所庁舎内をはじめ、学校や各公共施設に飛沫防止のパーテーションやデジタル温度計、消毒液等を設置しました。また、感染症拡大防止対策として公共施設や公園のトイレの洋式化等を行いました。

◆特別会計・事業会計

特別会計は特定の目的のための会計です。皆さんの健康保持に欠かせない国民健康保険、介護保険及び後期高齢者医療事業。また、快適に暮らせるまちづくりを進めるための農業集落排水事業、吉川美南駅東口周辺地区の整備を行うための吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業があります。

企業会計は、市が経営する企業の会計のことです。日々の生活には欠かすことのできない水道事業及び下水道事業があります。決算は左表のとおりです。

●特別会計決算

(単位：千円)

会計名		歳入	歳出
国民健康保険		6,807,268	6,572,494
農業集落排水事業		31,947	29,920
介護保険		3,962,020	3,872,434
後期高齢者医療		737,544	724,972
吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業		1,501,185	1,499,127
下水道事業※	収益的	1,497,512	1,364,593
	資本的	657,573	915,054
水道事業※	収益的	1,612,890	1,484,743
	資本的	138,819	724,572

\*資本的収入が資本的支出に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てん。

# 決算討論

## 〔一般会計〕

一般会計決算に対し、4名が討論を行いました。



## ―反対討論―

**日本共産党吉川市議員団**

**雪田 きよみ 議員**

当議員団は昨年、5回にわたり新型コロナウイルス対策の要望書を提出した。3月末と4月初旬にはPCR検査の

充実、発熱外来の設置を求めたが、PCR検査センターが設置されたのは5月下旬。市長は、医療従事者・医師会と日常・定期的に直接意見交換し、現状や課題を分析し、対策を練るべきだった。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金約6億4千万円余の事業が行われたが、約46%が「関連」。本当にコロナ対策として使われたかは疑問。関公園整備に4千万円を費やしたが、トイレ改修など必要な事業が実施されていない。

## ―賛成討論―

**未来会議よしかわ**

**稲葉 剛治 議員**

令和2年度は新型コロナウイルスの感染が世界的な広がりをみせ、私達の生活、市政運営に大きな影響を与える一年となりました。

市は、「生命を守る」「生活

を支える」「地域経済を後押しする」をコロナ対策の3大理念として施策を展開してきました。

感染拡大防止策徹底の上、コロナ禍でも事業の目的をどのように達成できるか、できることを考えるという姿勢が表れたと捉えています。前例のない事態に置かれた時に組織の真価が問われると考えます。どのような状況に置かれても、一貫性を保った市政運営に引き続き取り組んでいただくことを期待しています。

**市民の会・無所属**

**伊藤 正勝 議員**

コロナに明けコロナに暮れた一年。吉川市には国から83億3千万円余のコロナ予算配分。決算総額は3百億4千万円余の規模に。小中学校の一斉休業。緊急事態宣言。マスク、消毒液。3密の回避。検査所設置。支援の各種給付金補助金。最大は一人当たり10万円の給付。吉川では72億3千万円。9月までにほぼ全市民に。オンライン授業も想定

し児童・生徒一人1台端末配備。WiFi。公共施設のトイレ洋式化や防災・備蓄物資の見直しも。恒例のイベントは軒並み中止。通常業務も工夫し総力で向き合った一年。次年度は後世の「記録」となるコロナの総括報告を期待。

**公明党吉川市議員団**

**五十嵐 恵千子 議員**

令和2年度は猛威を振るう新型コロナウイルスとの戦いの1年間で、その戦いは現在も続いている。国では「国民の生命と暮らしを守る」との1点で3度にわたる補正予算編成が行われる中、当市も基礎自治体として地方創生臨時交付金を活用し、新型コロナウイルス拡大防止に努めながら、特別定額給付金10万円の支給を始め、各種の給付金・支援金事業や、暮らしに密着した新規事業の展開、市民へのワクワクン接種の準備を進める等々、未曾有の1年となった。数々の取組みと、昼夜にわたる入念な準備の賜物であると、職員・関係各位の皆様へ感謝。高く評価し賛成とする。

## 〔国民健康保険特別会計〕

国民健康保険特別会計決算に対し、1名の議員が討論をおこないました。

## ―反対討論―

**日本共産党吉川市議員団**

**遠藤 義法 議員**

国民健康保険は、他制度と比較すると年齢構成が高く、所得が低い割に保険税負担が重くなっています。市の国保会計だけで解決できない構造的な問題を抱えています。

18年度からの都道府県化は、医療費の縮減や一般会計からの繰り入れゼロを強要していますが、構造的な問題は解決できません。一般会計繰り入れは、20年度で2割削減され、財源不足の繰り入れは17年度からゼロです。国保会計の低所得者向けに市が補填するのは当然であり、国民の医療を受ける権利を保障する重要な社会保障制度です。国の補助額を増やすこと、さらに市の繰り入れ減を見直すべきです。

主な議案のあらまし

◆令和3年度吉川市一般会計  
補正予算(第6号)

既定の歳入歳出に10億9427万6000円追加し、総額は243億9191万4000円となります。

・商業活性化推進事業

3115万2000円

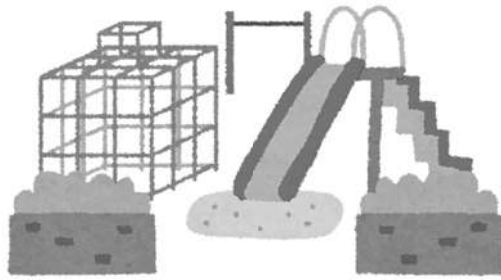
新型コロナウイルス感染症の影響により、経営・ビジネス環境に大きな変化が生じている中で、新たな需要に対応し、経営状況の改善を目指す取組にチャレンジする市内事業者に対して補助をするものです。(補助率4分の3、上限30万円)

・公園維持管理事業

2017万6000円

健康長寿の実現に向け、身体を鍛えることや健康づくりを目的とした大人向けの健康遊具を、中曽根公園・沼辺公園の2箇所に設置する費用のほか、市内各公園において老朽化が進んでいるため、施設

の修繕をするための費用を上するものです。



◆訴えの提起について

土地区画整理事業を推進している吉川美南駅東口周辺地区において、土地区画整理法第100条の2の規定により市が管理することとなった土地を、相手方が次のように占有していることから明渡しを求めてきました。が、応じてもらえなかったため、土地の明渡しを請求するものです。

○吉川市大字高久字小帳841番10

○単管パイプなどによる囲いや柵などの構築物により不法に占有

―反対討論―

訴えの提起に対し、1名の議員が討論を行いました。

市民の会・無所属

齋藤 詔治 議員

今、吉川美南駅東口周辺土地区画整理事業が、申出換地手法にて実施、留意点は地権者との合意です。事業の施行に当たり吉川市が管理する事業地内に、相手方(地権者)の構築物が残置・占有されていることに、市が明渡しを求めたが応じないため、訴えを提起(裁判)しています。市は精一杯丁寧に地権者に対し、説明努力をしていると思えます。さらなる熱意ある合意への話し合いをお願いします。現時点での吉川市自らが、解決策として裁判を起こすことには反対です。訴えの提起には、市議会の同意が必要です。市が今日事業実施のために、裁判を起こすことはいかがか、残念です。

人事案件

◆公平委員会委員の選任について

公平委員会委員の森山健次氏が令和3年9月21日をもって任期満了となるため、再度選任することについて同意を得るものです。

◆固定資産評価審査委員会委員の選任について

固定資産評価審査委員会委員の戸井田均氏が令和3年9月16日をもって任期満了となるため、再度選任することについて同意を得るものです。

追加議案

◆財産の処分について

吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業の業務系用地として、吉川市土地開発公社から取得した土地の一部を、次の4者に売却するものです。

- ①株式会社 アヤベ洋菓子 施設内容 焼菓子製造工場
- ②一般財団法人日本穀物検定協会 施設内容 輸入米麦などの

- 残留農薬分析研究所
- ③東京ワン運営合同会社 施設内容 データセンター
- ④ポラス 株式会社 施設内容 住まいに関する研究・研修の複合施設 (7ページにつづく)

◆令和3年度吉川市一般会計  
補正予算(第7号)

新型コロナウイルス感染症の陽性診断を受けた自宅療養者のうち、食料品の確保が困難な方に対し、食料品の提供を行います。また、市内中学校、保育所、幼稚園などの施設において陽性者が発生した際に、陽性者と一定の接触があると認められる方に対して、自主的にPCR検査をした場合の検査費用の一部を助成します。



# 委員会審査概要

市長提出議案について、3つの常任委員会において、より詳細に審査を行いました。

## 総務水道常任委員会

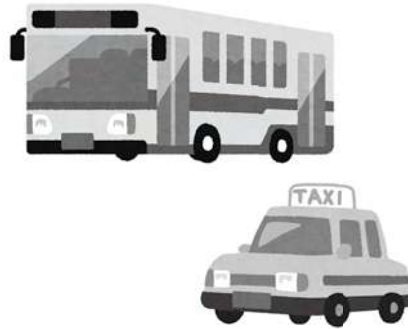
### ◆吉川市一般会計決算

#### ・公共交通について

令和2年度はコロナ禍で、緊急的にバスとタクシー事業者に2千万円以上の補助金を出した。バス会社に対しては、毎年1500万円の補助金を出している。公共交通を守っていくためには、日頃よりバス利用促進に関する取り組みが必要。事業者に直接補助するだけでなく、高齢者へバスの定期券半額補助など利用に対する補助制度の検討はあったか。

意見はなかった。公共交通事業者に対する対応について、問題視はしており、事業者との意見交換などを通じて、状況を見極めながら対応していきたい。

賛成多数で認定



### ◆吉川市一般会計補正予算

#### ・水銀灯照明のLED化について

新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金で実施しているが、コロナ対策とLED化の関係は。

3次補正で国から指示された対象事業が、新型コロナウイルス感染症の防止対策の他に、ポストコロナに向けた経済構造の転換・好循環の実現が挙げられている。これにはデジタル改革やグリーン社会

の実現が含まれている。

#### ・財政調整基金の積立について

財政調整基金の積立として約3億円。残高は13億弱。公共施設整備基金積立金は6億円。その目的と考え方は。

財政調整基金は予算編成時に必要な財源として考えている。コロナ禍で緊急的な対応を想定して積み立てている。公共施設整備基金の積立については、昨年度公共施設の長寿命化を策定し、その中で老朽化が進んでいる公共施設について、今後大規模な修繕や中規模修繕が必要になることから積み立てを行った。長寿命化計画での公共施設修繕計画は。3年間で整備していく施設として、市民交流センターおあしす、旭公園球場、総合体育館がある。

賛成全員で可決

## 文教福祉常任委員会

### ◆一般会計補正予算

市内で医療的ケアを必要とする子どもの人数は何人か。

小学校区に就学している児童は1名である。特別支援学校等については、越谷特別支援学校に3名在籍している。

市では、以前にも痰の吸引が必要な子どもに看護師を配置していたが、その時との違いは。

異なる点は、国からの事業費補助がある点である。以前は、対象児の病歴等について担当の看護師と情報の共有化に課題があったと聞いているが、改善策は。



今回の事業では、医療的ケアを進めていく上での会議体をつくる。その会議において、主治医や看護師をはじめ、医療に精通した方の意見を参考に進めていく。

タブレットの持ち帰りは、学級閉鎖や臨時休校などに限らず、毎日持ち帰り、家庭での学習に活用できるようにすべきと考えるかがか。

全市的な持ち帰りも段階的に進めていきたいと考えているが、現在は、登校不安の方への対応となっており、見直しの必要性を感じている。学校への負荷も相対的に考えながら進めていくが、タブレットの持ち帰りを進めるといふ大きな目標は揺るぎないものと考えている。

賛成全員で可決

### ◆一般会計決算

子ども応援配食の実績は。

令和2年3月では10日間、同年4月では14日間、5月では17日間、合計41日分、58食の配食を実施した。屋外市民プールを維持継続していくのは難しいとの見解か。

これまで現状や課題を検討し、議論を重ねてきたところである。意見公募を実施する際には、市として運営していくことは難しいことを示した上で、寄せられた意見を改めて検証していくということである。

**賛成多数で認定**



**建設生活常任委員会**

◆訴えの提起（吉川美南駅東口周辺地区）について

法に基づく行政代執行で占有物を処分できないのか。相手方への説得には時間が必要ではないか。

占有物件は、土地区画整理

法第76条の許可が不要なもので、行政指導や除去命令がでず、行政代執行も出来ない。認可前から約60回の交渉してきた。しかし、相手方の要求は、市が応じることが出来ない内容のため、訴えの提起を行うことを判断した。

**賛成全員で可決**

◆一般会計決算

市民参加推進費、自治会活動支援事業について、新型コロナウイルス感染症がどのように影響したのか。

自治会活動補助金は、良好な地域社会の維持及び地域自治の振興に資することを目的に交付している。例年であれば夏祭り等の活動に充てていたが、昨年度はマスクや消毒液の配付等に補助金を活用していただいた。

**賛成多数で認定**

◆一般会計補正予算

市民参加推進費、市民まつりを新型コロナウイルス感染症の影響により、中止するだけで良いのか。コロナ禍での市民交流はどうあるべきか。

コロナ禍の中、人が集まるイベントは困難と考える。他ではオンライン等、様々な取り組みが行われている。来年度に向け、イベントが出来なかつた時にどういったことが出来るか考えていきたい。

減災費、災害用備品購入費で購入する備品の役割は。

蓄電池と太陽光パネルは、避難所での電源喪失時におけるライフラインの確保を目的に、避難所に整備するもの。また、デジタル簡易無線の予備バッテリーは、現場と本部の通信手段を確保するため、これまで保有していなかつたので30個を整備するもの。

**賛成全員で可決**



**注目の議案**

◆一般会計補正予算

酸素吸入や人工呼吸器の管理など、医療的ケアが必要な児童生徒の支援体制を充実させるため、学校に看護師を配置します。

これまで、医療的ケア児が地域の小中学校などへの進学が認められても手厚いサポートが必要のため、保護者の負担が大きく、通学することを断念したり、ケアの負担が集中しがちな母親が離職せざるを得なくな

なったりするというケースが起きていました。痰や唾液の機械による吸引、医療用の管を用いて尿の排出を行う導尿など、様々なケアに対応することで対象となる児童生徒の健全やかな成長を図るとともに、その家族の離職を防止することが出来ます。

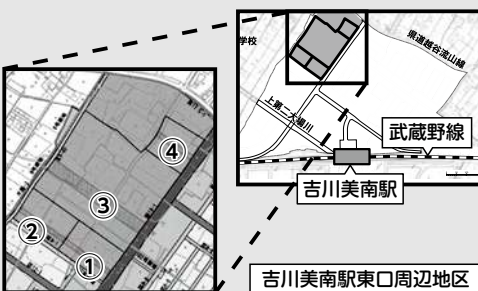


◆財産の処分について

(5ページの続き)

産業ゾーン約7.6ヘクタールのうち市が所有する企業誘致分7400平方メートルを売却するものです。

本会議では、市に見込まれる税金や雇用の確保、売却した4者が産業ゾーンのコンセプトに適合しているか等、4名の議員が質疑を行いました。



※①～④の企業名は5ページ参照

### 災害時の避難所の 運営について



中嶋 通治

**問** 設営、運営は誰がどのようにするのか。

**答** 職員が行う。突発的な災害の発生、開設の長期化では自主防災組織や地域住民の防災意識を高めるため、運営マニュアルの整備を推進。

**問** 避難所に入るための鍵の開閉について。

**答** 学校にキーボックスを設置し、複数人で対処。自治会長にもお願いしたい。

**問** 変異型ウイルスがまん延しているが対策は。

**答** 感染拡大を防止するために、動線や居住エリアをきちんと分ける。密を回避するために、自宅の垂直避難、知人宅への避難啓発に努める。

**問** 要援護者への対策、取り組みは。

**答** 支援が必要な人に支援が行きわたるよう、登録人数の精査を行う。

**問** 夜間の防災・減災訓練をやったらいかがか。

**答** 自主防災組織で要望があれば支援対応をしたい。

#### ◆病児・病後児保育について

**問** アンケート調査での対策は。

**答** 専用の予約システムを年内に稼働。24時間ネットで予約出来るようになる。

### 「障がい者サポート基金」の 活用等進捗状況は



戸田 馨

**問** 障がい者サポート基金について、吉川市障がい者の地域での生活を考える検討会議における議論等、基金活用における検討内容は。

**答** 第2期会議を開催し、「就労支援」をテーマに各委員から幅広い意見をいただき具体的な内容を検討中。その財源として基金の活用を考えている。基金についてはホームページへの掲載、リーフレットを市内関係者に配布し周知を図っている。財政面においても、基金への寄付の声も企業よりいただいている。

**問** 「吉川市空家等の適正管理に関する条例」について、実効性のある運用が必要と考えるが条例公布後の運用実態は。

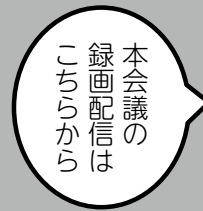
**答** 市が把握している空家130件のうち、管理不全な状態の空家への適切管理を促すことで改善も見られるため、現在のところ条例に基づいた行政指導は行っていない。しかしながら、軽微な措置へ対処については市民から要望も上がっており、それに対応する条例の運用は必要だと考えている。今後は実効性のある条例運用を図っていききたい。

# 答えて市長！ 一般質問

今定例会では、9月21日(火)、22日(水)、24日(金)の3日間にわたり16名の議員が市政全般について、市の見解をただしました。主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。

会議録は、ホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は、12月上旬となる予定です。

※9月21日は加藤議長が体調不良により本会議を欠席したため、稲垣副議長が予定していた一般質問を取りやめ、議長に代わり議事進行を行いました。これに伴い、副議長の一般質問は、後日書面回答のあったものを要約して掲載しています。(12ページ)



### 大人たちが模範を示し 安心安全な通学路・生活道路に



降旗 聡

**問** 今年6月、千葉県八街市で下校中の小学生5人が飲酒運転の大型トラックにはねられ死傷するという、痛ましい交通事故が発生した。悲惨な事故が発生するたび、様々な課題を乗り越え、人命を守る環境を作っていくことが、私たち大人の責務であると、痛感させられる。通学路・生活道路の安全対策について市の見解は。

**答** 教育長からは、今年は通学路総点検の年であったが、事故を受け、各校に重ねて点検依頼をした。日々、地域や保護者、学校で組織的に点検している。が、点検を目的とせず、関係機関と連携して対策を講じていきたい。

子ども達の安心・安全を守るために何ができるかを大人が、社会全体が、それぞれの立場で真剣に考え、できることを行っていくという姿勢を、子ども達に示す。そのことが大切と考えている。

**答** 市長からは、第一義は、運転者のマナー・モラルが出発。大人たちがしっかりと模範を見せるまちであるためにも、議員が提案したものも含め、まずは大人たちがしっかりとした自覚を持つといったことを、しっかりと進めていきたい。並行して通学路の安全を高めていく。



### 吉川市パートナーシップ 認証制度の早期導入を



五十嵐 恵千子

**問** 令和元年9月議会一般質問で取り上げて以降「レインボーさいたまの会」からのLGBT（性的少数者）に関する要望書を市へ提出→令和2年3月議会では請願が市議会へ提出され採択→令和2年9月議会でも再度、早期導入を要望したところ、「市民の意向を踏まえ、丁寧に検討」とのご答弁をいただいていた。導入への進捗状況と今後のお考えを伺う。

**答** 今年8月に「人権施策推進本部」において導入に向けての検討が承認されたことから、今後、パブリックコメントの実施や関係団体等と調整し、今年度内の導入に向け取り組む。

#### ◆医療的ケア児の支援強化を

**問** 医療的ケア児支援法に基づき支援強化を。

**答** 市内小学校における医療的ケア児の円滑な実施に向けた様々な準備を進めている。

### 新型コロナ感染症対策・ 対応について



小野 潔

**問** ①ワクチン接種の現状と見込み。②妊産婦の優先接種は、若者への接種勧奨でインセンティブをとの考えは。保健所機能ひっ迫時の自宅療養者対策のパルスオキシメーター、食糧は、酸素ステーション、中和抗体カクテル療法等医療への誘導は。③小中学校へ配布の抗原検査キット利用の考え方は、感染予防率の高いといわれる不織布マスク利用の啓発に力を。④販路開拓をする事業者へ上限30万円を補助する事業発展支援補助金を使い農業事業者のスマート農業化への推進を。

**答** ①予約状況は現在66%、希望者全員の接種は11月中旬頃75%が見込まれる。②妊産婦・同居者へ優先し現在264名が接種、インセンティブは差別にならないよう、医療支援は保健所、県の宿泊・自宅療養者支援センターが拡充され経過観察協力医療機関を通じ行う、市は自宅療養者の情報を県より提供を受け食糧等の生活支援を行う。既に8月13日より支援を開始、今後も状況に応じ対応。③キットは原則教職員へ、4年生以上の児童生徒で補完的に利用、不織布マスクの啓発に努める。④スマート農業化への利用可能、周知も図る。

### 教育部と市長部局の連携で 子どもを守り育てるために



林 美希

**問** 虐待、いじめ、望まない妊娠を防ぐために「子どもが自らの心身を大切にできる」「子ども自身が気付くことができる教育」「子ども自身が通告できる仕組み」が必要と考える。教育部と子育て支援の観点から見解と取り組みを伺う。

**答** 教育部としては、学校では子どもの自己肯定感を育てることを大切に、相談しやすい環境づくりに努めている。いのちの授業を行っている学校がいくつかある。保護者向けとして家庭教育や生涯学習からでもできることを検討する。

子育て支援としては、児童の権利を守るため児童虐待を防止することを使命に取り組んでいる中で、気付くためのリーフレット、連絡先が掲載されたグッズの作成と配布を検討している。就学前の子どもや義務教育終了後の若者に対する性に関する支援も有効策を検討する。

### 緊急対策として カーブミラー電柱に目印住所を



大泉 日出男

**問** 事件事故の際に電柱に管理番号を伝達することで場所の特定ができるが、より詳しく現地を特定する必要がある。現状は、表示が地名のみ、薄くて見えない場合など不便。特に携帯電話を持ってない場合や県外から来る方は不便と考える。市の認識と課題があるのか伺う。

**答** 市内全域の住所明記までは把握していないため、消防と連携をしつつ今後の運用について研究していきたい。

#### ◆通学時の安全対策について

**問** 今年6月千葉県八街市、下校時での惨事を受け、当市ではどのような受け止め方や対策をしており、PTAや地元からどのような要望があるのか伺う。また飲酒運転撲滅や根絶に向けて考えている対策を伺う。

**答** 今回の事故を受けて当市においても重く受け止めており対策には最大限、取り組んでいく。

特に本年は5年に一度の総点検をしていて、様々な視点から見直しがある。県と市の整備箇所としては62カ所、地域ごとに状況が異なる。PTAとも連携する。今後は継続して啓発チラシや諸活動で認識を深めていく。

### 狭い道路の拡幅と市の管理 する樹木について

赤出川 義夫



**問** 首都直下地震に備え、防災・減災機能を向上させるため、震災時に火災の危険度が高い木造密集地域の4m未満の道路拡幅と、道路上の電柱移設の取組みは。

**答** 街づくり整備基準条例第8条に基づき、宅地開発が行われる土地に対し、市道の中心から2mや3mなどの道路後退と、その土地に電柱などがある場合には、民有地に移設するよう当該事業者に対し要請をしている。地権者の承諾が得られない場合は、道路上に存置となる。

**問** 市で管理する施設の樹木が歩道や道路、隣地に張り出している箇所が見受けられる。

剪定頻度、予算等管理は。

**答** 剪定頻度については、各公共施設の繁茂状況により年に1回から2年に1回程度、公園等で隣接する民地などに影響があるものは、年1回程度の剪定を行っている。予算等の管理については施設を所管する課が管理をしており、職員が対応出来ない高木などの樹木は、選定作業など業者に業務委託しそれ以外の樹木は職員で対応するなど必要な予算措置を行い、民地などへの配慮に努めている。今後も各公共施設の点検をはじめ道路パトロールなどを通じて適切な管理に努めたい。

### 認知症高齢者の 見守り体制の強化を

雪田 きよみ



**問** 行方不明の認知症高齢者の死亡率は約3%。早期発見が重要。しかし現実には家族が警察に通報しても、土日祝祭日夜間など見守りネットワークに繋がらない状況がある。①認知症高齢者の徘徊についての認識は。②徘徊リスクのある方を市に事前登録し、行方不明時に警察と市と両方に通報し、見守りネットワークに連絡するような仕組みを構築すべきでは。③行方不明の翌日5市1町へ、さらに翌日県へと広げていく仕組み。しかし行方不明の当日又は翌朝、他市で発見される現状がある。翌日になって5市1町に広げるのでは遅いのでは。

**答** ①自動車事故など、危険があることは承知している。そのためにも一刻も早い発見は大事。見守りネットワークの活用等対策をとっている。②事前登録しなくても、今のやり方で十分機能していると考えている。これが十分と思っているわけではない。事業ができるだけ良い形で活用されるよう取り組んでいきたい。③時間の経過とともに範囲を拡大することで、ネットワークがより効率的に機能するよう努めている。

### 安全な越谷吉川線の道路に

飯島 正義



**問** ①工事中の越谷吉川線が全線開通した場合、中井三丁目交差点と手前に設置される新たな交差点の間が150mと距離が近いことから渋滞が懸念されます。新設の交差点に信号機や右折帯など設置し、安全な交差点にすべきと考えますが。②三輪野江小学校前北側市道を通る車両が増え、交通事故等が懸念されます。車幅規制のポール設置など安全対策を実施する考えは。

**答** ①新設される交差点は信号機、右折帯の設置など県と協議し、交通が円滑に進むよう計画しています。②は、通学路でもあり、危険であれば規制など公安委員会と協議し、安全対策を図ります。

#### ◆小中学校体育館にエアコンの設置を

**問** 異常気象の中で小中学校体育館は、児童生徒の健康や教育環境を守ること、災害時は避難所として重要な防災拠点にもなります。早急にエアコンを設置すべきです。

**答** 市は、子どもの健康を一番と考えております。災害時は、冷暖房が整備されている校舎の活用を想定しています。体育館へのエアコン設置だけでなく、多角的に検討しています。

### 安全安心のまちづくりについて

松崎 誠



**問** 市役所移転に伴い、市役所北側の道路及び新しく一部開通した吉川橋の4車線通りを市民に親しまれる道路として、新たに道路名称を市民から募集する考えがあるかを伺います。

**答** 市民の道路に対する親近感を高める効果が期待されるので、他自治体の事例を参考にしながら研究してまいります。

**問** 旭公園球場のナイター照明が消灯作業忘れにより翌日の朝まで点灯したままという事案があり、それを連絡しようとした市民からの電話が庁舎停電検査でつながらない事態が発生しました。危機管理意識について伺います。

**答** 委託事業者に対し、再発防止の徹底を依頼し、作業体制の見直し、チェックシートの活用等、確認作業の徹底など再発防止策を講じ、現在有効に機能していることは確認しています。市役所代表電話については、通信事業者が提供する転送サービスを利用し、通話可能な電話機に転送することで回避することが可能になり、転送サービスを利用して市民の安全安心につなげてまいります。

### 吉川美南駅東口区画整理の 信じがたい実態が明らかに

齋藤 詔治



**問** 私は今日まで、本土地区画整理事業は、不透明が多々あると議会で質問を続けてまいりました。この度、周辺地権者からコンクリートガラ等を振っている状況写真が持込まれ、市に説明を求めた際、この区域内は建設発生土搬入契約最初の令和元年よりガラ混入され、撤去作業が実施され令和4年3月まで続くと説明されました。令和3年7月17日に吉川市は中原市長同席の下、市議会議員に説明会を開催し、今までにない資料提供がなされました。今後事業推進に当たり、この建設発生土の搬入状況によっては、区画整理は予定通りに進みません。関連事業者にも影響があり、原点に戻って素直に事業計画の予定に従って再度見直しをすべきです。搬入土が少ない状況（計画の約半分）を本当に真剣になって、この問題を解決しなければと思っています。事業の最高責任者として市長の考えを賜ります。

**答** 開発においてスピード感を持って、そして同時に地権者の皆さんの意向をしっかりと伺って丁寧に進めて行きます。私も責任者として出張するところは出張して、落としどころをつくってまいりますので、ご理解をいただければと思います。

### は一とふるぽっと跡地 貸し出しスペースとして活用を

岩田 京子



**問** この場所は来場者の目立つ場所にあり、なおかつ施設ができることが利点。貴重な作品の展示、手作り品の販売等の場所として、長期間の利用ができると市民の活躍の可能性が広がる。貸し出しスペースとして活用できないか。

**答** 貸し出し施設は他にもある。フリースペースとしての活用が使い勝手よく当面このままで。展示やギャラリーの要望はない。

**問** 貸しスペースにすれば利用料も得られ、費用対効果が高いのでは。貸し出す場合、手続きは。

**答** 利用料を取るための整備が必要。

**問** 40年の歴史ある協働労働がついに法制化。労働者協働組合法が来年10月に施行。3人からの届け出制で簡便な起業が可能に。市の対応は。

**答** 組合員が自ら出資し、意見反映し、運営に関わるといった新たな法人格。ワークライフバランスの実現、多様な就労機会の創出につながり、地域の課題解決の促進と持続可能で活力ある地域社会の実現に貢献度が高い。県の研修会に積極的に参加し、その情報を市民、事業者だけでなく、庁内関係部署にも周知していきたい。

### 道路網整備と防災計画の実施は

遠藤 義法



**問** 吉川美南駅周辺区画整理事業が進む中、栄町方面から吉川美南駅へのアクセス道路整備を早急に取り組むべきです。また、東埼玉道路へ接続する越谷総合公園園川藤線、さくら通りの関小から北への延伸整備計画を伺います。

玉葉橋下の水防センターの設置計画は。

**答** 区画整理地内の幹線道路は令和4年度供用開始に向け整備しています。栄町方面から吉川美南駅への道路は、既存道路を活用して整備していく。東埼玉道路に接続する道路についても関係機関との調整や財源確保の検討を進めていきます。水防センターは、多くの方々のご意見を伺いながら有効な活用方法を検討します。

### ◆国保税、子どもの均等割軽減策の拡充を

**問** 来年度から未就学児の国保均等割が5割軽減されます。子育て支援策として、市独自策として年齢をさらに引き上げるべきと考えます。

**答** 年齢引き上げを市独自で実施した場合、すべて保険税や一般会計から賄うこととなります。国が責任をもって対応すべきであり、市独自には実施せず、国に要望していきます。

### 「コロナの不安」に向き合い わかりやすい情報の提供を

伊藤 正勝



**問** 感染の急拡大。減少に転じているがコロナ禍は長期戦。「情報がまだ少なく不安だ」の声がある。基本的な考えを伺いたい。

**答** コロナの現状を正しく理解し適切に対応していただくことが目的。新規感染者については県発表をもとに市のHPで公表。発熱等で受診できる医療機関や市が行う在宅療養者支援策等も掲載。プライバシーや偏見も考え、陽性者のその後や療養場所の扱いは慎重にしている。

**問** 感染者はオリンピック前後に急増。吉川の実状は。市内の病床や重・中等症について。インフルエンザ接種についても伺いたい。

**答** 吉川では6月17人。7月71人。8月は430人に。このうち学童は8人、小学校36人。中学校10人。教職員6人。県や国の傾向とも類似。重・中等症患者の吉川の実状は把握していない。インフルエンザ接種は例年通りの予定。コロナ接種とは2週間以上の間隔が必要。

**問** 吉川の中核病院の役割等幅広く掌握しわかりやすい情報の提供をお願いしたい。

**答** ワクチン接種は11月中旬に希望者は終了見通し。情報の提供はさらに検討したい。

**新型コロナウイルス感染症  
対策について**



稲垣 茂行

**問** 吉川市内の感染状況及び埼玉県・吉川市内医療体制の現状

**答** 市内新規感染者数は令和3年6月が17人、7月は71人、8月は430人で感染拡大が続いている。受診できる県指定の診察・検査医療機関は市内17、県内では1,215。

**問** 「ワクチン接種」の実施状況と完了予定

**答** 9月12日時点の1回目接種者は、39,400人で接種率約61%、2回目の修了者は29,163人で接種率約45%。11月中旬には希望者全員の完了を予定。

**問** 「市内自宅療養者」の救急搬送の現状

**答** 8月期の「自宅療養者」からの救急要請は38件。うち12件を搬送、26件は不搬送と吉川松伏消防組合より伺っている。

**問** 「自宅療養者」への支援体制

**答** 県はパルスオキシメーターや食料を届けるとともに、定期的に電話等で健康観察を実施。

**問** 市民の不安解消に市がなすべきこと

**答** 関連情報の提供や市独自の「自宅療養者」への食糧支援をはじめ、保健師1名を草加保健所へ派遣し業務支援を行っている。

**安心・安全な道路整備と  
危険箇所の周知徹底を**



吉川 敏幸

**問** ①幼保育園のお散歩コースや通学路の総点検の結果、挙がってきた危険箇所は何カ所になるのか。②また、その周知方法は。

**答** ①保育施設等からは16カ所、各校からは73カ所が危険箇所として挙がってきた。それらの点検結果のうち、越谷県土整備事務所より対策の必要があると判断された箇所は62カ所である。②学校配布物、PTAを通じて、児童・保護者に周知することを考えている。

**◆三輪野江のしっかりとした現況把握、計画を**

**問** ①農業保全エリア、農業拠点エリア、将来開発検討エリア、それぞれの連続した農地はどれくらいか。②県や国の意向は、また、県や国のどういう事業、法令に則って進めるのか。

**答** ①詳細については、現在調査中でお示しできない。②農地保全、農業拠点エリアにおいては、事業を検討するにあたり県に情報提供を行い、情報交換をしているところ。将来開発検討エリアにおいては、現在のところ、工業系の開発に関する県や国の意向や事業はない。当市において、基本構想の作成を進めているところ。

**意見書**

意見書は、地方自治法第99条に基づき、市の公益に  
関することについて、国会や関係行政庁に対し、議会  
の意見をまとめて提出する文書のことです。

今定例会には3件の意見書が提  
出され、次の2件を可決、内閣  
総理大臣等へ送付しました。



**名古屋入管死亡事件の真相究明  
を求める意見書**

名古屋出入国在留管理局の収容施設  
でスリランカ人ウィシユマ・サンダマ  
リさんが3月に亡くなった事件で、入  
管庁最終報告書を公表しました。報告  
書は「改善すべき点があった」とした

ものの、なぜ死を防げなかったのか、  
具体的な検証はありません。  
死亡の1カ月以上前から嘔吐を繰り返  
返し、3週間前の尿検査は「飢餓状態」  
でしたが、内科的処置はおこなわれて  
いません。報告書は、これらの原因  
を「医療体制の制約」や情報共有・対  
応の体制の問題としています。しかし、  
入管職員が、体調不良の訴えは仮放免  
を得るための「詐病」とみなしたとの  
記述もあり、体制があっても対応しな  
かった可能性は否定できません。  
各地の入管施設では、体調不良を訴  
えても診療を認めようとせず、被収容  
者にまともに向き合わない姿勢が批判  
されてきました。背景には、医師の判  
断より施設長の判断を優先させる入管  
行政の構造上の問題があります。入管  
施設で医療を受けられず死亡した事例  
が後を絶たず、職員の暴力・暴言・人  
権侵害を告発する声も続出していたの  
に改善されないことは深刻です。ウィ  
シユマさんがものを飲み込めず苦しむ  
様子をからかう職員がいたことは信じ  
がたい人権意識の欠如です。

今回の報告書で幕引きは許されません。第三者による内部立ち入りを含めた調査、ウイシユマさん死亡前の施設内でのビデオ映像の全面開示、国会での十分な審議をおこない、真相を徹底究明することを強く求めます。



**コロナ禍による厳しい財政状況  
に対処し地方税財源の充実を求  
める意見書**

**この意見書は、全国市議会議長会から依頼を受け提出したものです。**

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度においても引き続き、巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面しています。

地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向け増高する財政需要に見合う財源が求められており、その財源確保のため地方税制の充実確保が強く望まれます。

よって、国においては、令和4年度地方税制改正に向け、以下について確実に実現されますよう強く要望いたします。

記

1. 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
2. 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じた措置は、本来国庫

補助金などにより国の責任において対応すべきものである。よって、現行の特例措置は今回限りとし、期限の到来をもって確実に終了すること。

3. 令和3年度税制改正において土地に係る固定資産税について講じた、課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとする。

4. 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。

5. 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。



**茨城県取手市議会と  
オンライン視察研修を行いました**



議会活性化特別委員会では、議会運営におけるICTの活用について協議を進めており、令和3年7月23日に、先進的な取り組みを行っている茨城県取手市議会と、ウェブ会議を活用したオンライン視察研修を行いました。

当日は、取手市議会の皆様より、オンラインでの議会運営の実情やタブレットの活用などについて、懇切丁寧な説明をいただきました。今後も知識を高めながら、非常時の議会運営や効率化に向けた検討をさらに進めてまいります。

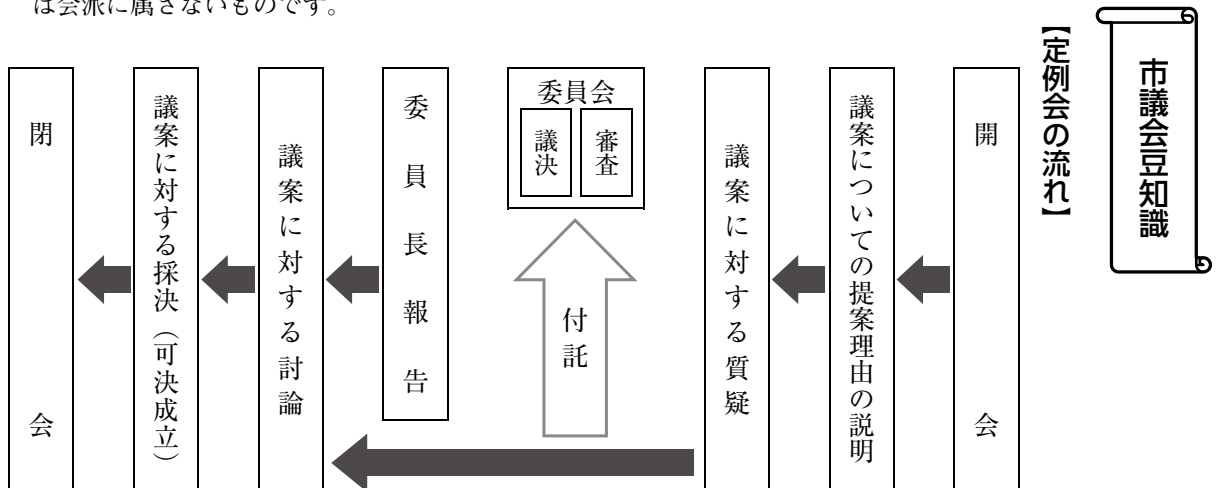
## 9月定例会審議結果一覧

○=賛成、×=反対、議=議長(議決に加わりません)  
◎=議案提出者、-=退席

	議決結果	自由民主党					市民の会				未来会議			共産		公明			無	無
		赤出川 義夫	吉川 敏幸	加藤 克明	中嶋 通治	松崎 誠	岩田 京子	稲垣 茂行	伊藤 正勝	齋藤 詔治	稲葉 剛治	戸田 馨	林 美希	遠藤 義法	飯島 正義	雪田 きよみ	小野 潔	五十嵐 恵千子	大泉 日出男	成本 直寛
<b>《市長提出議案》</b>																				
吉川市立学校設置条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
訴えの提起について	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公平委員会委員の選任について	同意	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度吉川市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
令和2年度吉川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
令和2年度吉川市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度吉川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
令和2年度吉川市後期高齢者医療特別特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
令和2年度吉川市吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度吉川市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決及び認定	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度吉川市下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度吉川市一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度吉川市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度吉川市吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の処分について	可決	○	○	議	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度吉川市一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

	議決結果	自由民主党					市民の会			未来会議		共産		公明		無	無				
		赤出川 義夫	吉川 敏幸	加藤 克明	中嶋 通治	松崎 誠	岩田 京子	稲垣 茂行	伊藤 正勝	齋藤 詔治	稲葉 剛治	戸田 馨	林 美希	遠藤 義法	飯島 正義	雪田 きよみ	小野 潔	五十嵐 恵千子	大泉 日出男	成本 直寛	降旗 聡
《議員提出議案》																					
名古屋入管死亡事件の真相究明を求める意見書	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	◎	×	×	×	○	○
米価暴落に対する緊急対策を求める意見書	否決	×	×	議	×	×	○	○	○	○	×	×	×	◎	○	○	×	×	×	×	○
コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	可決	○	○	議	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市議会議長に対する不信任決議	審議 未了			—				議				◎									

\* 会派名の「自由民主党」は「自由民主党吉川市議員団」、「市民の会」は「市民の会・無所属」、「未来会議」は「未来会議よしかわ」、「共産」は「日本共産党吉川市議員団」、「公明」は「公明党吉川市議団」、の略です。「無」は会派に属さないものです。



◆ご意見・ご感想をお寄せください◆  
議会だよりをご覧になったご意見・ご感想をお寄せください。  
〒342-8501  
吉川市きよみ野一丁目1番地  
吉川市役所 議会事務局  
FAX 048(982)5391

「新型コロナウイルス感染症対策への  
ご協力ありがとうございました」  
今定例会につきましても、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止にご協力をいただき、ありがとうございました。引き続き、皆様のご協力のもと議会運営を進めて参りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

## 次定例会の予定 市の重要な施策や皆さんに身近な問題が審議されます

日	月	火	水	木	金	土
本会議は10時、委員会は9時30分に開会します。 本会議の様子はインターネットでもご覧いただけます。				12月2日 本会議 (開会日)	12月3日 休会日	12月4日 休会日
12月5日 休会日	12月6日 本会議 (議案審議)	12月7日 委員会 (総務水道・ 文教福祉)	12月8日 委員会 (建設生活)	12月9日 委員会 (請願審査)	12月10日 休会日	12月11日 休会日
12月12日 休会日	12月13日 本会議 (委員長報告)	12月14日 本会議 (一般質問)	12月15日 本会議 (一般質問)	12月16日 本会議 (一般質問・閉会日)		

### ●傍聴について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴自粛のご協力をお願いする場合があります。

### ●会期の日程について

会期の日程については変更となる可能性があります。市のホームページ等でご確認ください。

「よしかわ議会だより」の音声版を「朗読サークルきんもくせい」の協力で作成しています。  
ご希望の方は、議会事務局へご連絡ください。

## 編集後記

今年も新型コロナウイルス感染症が収束するどころか、再拡大するなど  
猛威をふるいました。3月・6月・9月の定例会に加え、2月・5月・7  
月・10月にも臨時会を開催。新型コロナウイルス感染症対策交付金、特別  
定額給付金、子育て世帯生活支援給付金など議会でも審議し議決されまし  
た。令和2年度ベースで、約83億3700万円、令和3年度ベースで、約  
3億7600万円が執行されました。

立冬を迎え、日毎に寒さが身にしみて、落ち葉が舞い散る様子にも、もの  
寂しさを感じる季節となりました。今年もあと2カ月、一日も早い収束と市  
民の皆さまの普段通りの生活が戻る日を心より願います。

加藤 克明

## 表紙の写真



なからさき ゆづき  
榎崎 優月さん  
(関小6年生)

なからさき しづく  
榎崎 詩月さん  
(関小3年生)

夏の東京五輪で大きな注目を浴びたスケートボード。市内にはスケートボードが出来る、アクアパークがあります。アクアパークは、平成13年の成人式で新成人から市長への嘆願を機に整備された公園で、利用は無料、予約不要です。スケートボード場だけでなく、バスケットボールコート、屋外ステージがあり、市内外から利用者が訪れています。大雨時には、近隣住宅の浸水被害を軽減する調整池の機能も備えています。撮影に協力してくれた二人は練習を始めて約1年ですが、ゴン攻めのすべりを見せてくれました。